

# 四国横断自動車道 軟弱地盤対策技術検討委員会

## 議 事 概 要

1. 日時：令和2年8月6日（木）10：30～11：20

2. 出席者：

徳島大学 准教授 上野 勝利

阿南工業高等専門学校 教授 吉村 洋

四国地方整備局 道路情報管理官 大西 良明

※敬称略

3. 議事：

- ・ 函渠沈下の原因と対策案について

4. 議事概要：

（事業者より説明）

- 徳島河川国道事務所が整備を進めている四国横断自動車道（阿南～徳島東）については、早期の供用を目指して事業を進めているところであるが、小松島市の前原地区において、施工済み函渠の沈下が確認された。
- 函渠は3つのブロックで構成されているが、沈下が確認されているのは1ブロックの端部のみであり、極めて局所的な軟弱地盤が原因と想定される。当該函渠付近で実施した地質調査の結果、沈下した部分のみ過去に行われた土砂採取跡地の埋戻し土が確認された。
- 対策案として沈下復元及び地盤補強が可能な、「不同沈下構造物復元特殊工法（JOG工法）」の採用を検討している。
- 今後、現地を確認頂いた上で、対策についてご判断をいただき、一日も早い供用を目指して事業を進めていきたい。

（各委員からの提案・意見）

- 現段階で推定される沈下原因、及びその対策については概ね了承する。
- 当該函渠は大きな構造物であるため、深い層も調査しておいた方が良い。
- 不同沈下構造物復元特殊工法の採用にあたっては、施工時に函渠鉄筋への影響を注意されたい。

以上